

平成 27 年度 事業報告書

(概要版)

詳細は各事業所にて閲覧できます。

社会福祉法人白寿会

1 概要

平成 27 年度は介護報酬の大幅なマイナス改定、地域包括ケアの進展を中心とした法改正年度であり、各事業所において、それらへの対応が中心的なテーマとなりました。

プレミア扇では、デイサービスを除く全事業所において前年度比で収入増を達成し、各種加算算定、稼働率向上への取組が成果として見られました。また増築工事も概ね完了し、次年度からの地域密着型デイサービスの設置にむけて準備が進められています。足立区では平成 28 年度下半期から総合事業が開始することもあり、軽度者、要支援者へのサービス拡充拠点となることが期待されます。また、医務課の体制強化も徐々に進み、重度化対応、看取りケアへ万全な形で取り組めるようにしていきます。

プレミア草加南では、開所 2 年が経過し、近隣地域において認知度が高まってきたこともあり、各事業所において稼働率が上昇しました。とりわけ、グループホーム、短期入所、特養と連携しながらのベッドコントロールが機能し、多様な形での事業所の総合力を活かしたケアの提供という本来の事業主旨に合う運営となっています。毎月の地域交流イベントをはじめ、認知症予防運動など、扇にはなかった取組も定着しつつあり、更に地域に根差した事業所とすべく来年度以降の取組が期待されます。

プレミア東松戸の新築工事は、建設工事の入札、契約も無事に終了し、予定どおりの工事進捗となっています。設備類もノーリフトポリシーに基づく最新機器の導入を検討しており、工事費が高騰する中であっても費用対効果を考慮しながら、十分なハードの構成を目指しています。

拠点や事業が増加していく中、人材確保が急務であり、本部において採用強化（各種学校やハローワーク等の求職者窓口）との関係を構築しつつあり、今後の検討課題である外国人労働者も含め、対応を急いでいます。

また就業規則の改定において、原則として週 40 時間の所定労働時間に移行し、それにともない等級制度を見直すなど、職員のキャリアパスおよび待遇改善につながる取組を行いました。今後はキャリアパス要件の詳細化およびそれにとまなう教育体系の整備が必要不可欠であり、次年度以降の取組課題といえます。

①既存事業所 稼働状況

詳細は各拠点 事業報告書を参照

拠点	事業	平均	H28.3	拠点	事業	平均	H28.3
扇	特養	97.3%	99.6%	草加南	特養	94.8%	99.5%
	ショート	93.8%	99.3%		ショート	87.5%	96.1%
	デイ	81.8%	79.9%		GH	96.4%	100%
	訪問		33 名		訪問		未設置
	居宅		147 名		居宅		65 名

訪問・居宅は H28.4 現在

②扇拠点概況

- ・全事業所での年間黒字化
- ・特養での日常生活継続支援加算、経口維持加算の算定開始、デイ・ショートでの個別機能訓練加算の算定、デイでの中重度ケア加算の算定 ⇒ 報酬改定への対応
- ・特養、ショートステイでの高稼働状態を維持
- ・看取り介護の増加と対応力の向上（医務課の体制強化）
- ・事故対応（行政報告）の強化の必要性
- ・増築工事が平成 28 年 5 月に完了
 - 地域密着型デイサービス（ファンビル プレミア扇※）の設置
 - 訪問介護ステーション・居宅介護支援事業所の移転
- ・地域交流会、敬老会等の定例行事の実施
- ・設立 10 周年記念式典の実施

※ ファンビル プレミア扇概要

『楽しみをつくる、いつまでも楽しめる自分をつくる』を標語に、新ブランド『ファンビル』として、定員 10 名、午前午後 1 回ずつの短時間デイサービス。介護予防運動、リハビリに特化したプログラムとしている。

③草加南拠点

- ・各事業所において高稼働を確保（特に GH）
- ・事業所横断でのサービス提供が円滑化（柔軟な介護サービスの提供）
 - グループホーム⇔ショートステイ - ショートステイ⇔特養⇒ 訪問介護やデイサービスの必要性
- ・屋上園芸
- ・介護予防運動：週 4 回程度外部インストラクターも招き介護予防運動の実施
- ・月次地域交流会、運営推進会議の定例化
- ・委員会活動や職員研修など、初年度以上の取組（扇との連携の必要性）
一方で職員定着に課題
- ・管理職配置（事務的業務を扇との協業について要検討）
- ・特養での食事提供方法を検討中

④東松戸拠点

- ・建築工事入札を終了し、予定どおりに着工
- ・現在は基礎工事が概ね終了の段階
- ・設備について、限られた予算内で充実化
- ・管理者クラスの採用

2 財務状況の概要

平成 27 年度決算では、法人全体での当期活動増減差額が約 52,882 千円、当期末繰越活動収支差額が約 246,427 千円となりました。プレミア東松戸の開設準備により-11,974 千円が生じていることから、既存事業所においては例年以上の成果をあげることができたと言えます。

(法人全体 事業活動収支計算書 3 カ年概略推移：円)

科目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	前年度比
サービス活動収益計	664,226,792	865,680,763	942,255,647	76,574,884
介護保険事業収益	633,370,170	865,430,763	941,981,747	76,550,984
経常経費寄付金収益	7,188,743	250,000	273,900	23,900
サービス活動費用計	644,298,298	823,772,009	878,917,854	55,145,845
人件費	370,906,144	505,166,550	546,888,835	41,722,285
事務費	95,405,996	120,162,181	133,990,994	13,828,813
事業費	114,837,227	134,602,706	134,222,269	-380,437
減価償却費	58,971,664	89,092,886	89,722,956	630,070
サービス活動増減差額	19,928,381	41,908,754	63,337,793	21,429,039
サービス活動外増減差額	-6,666,446	-8,642,236	-9,536,089	-893,853
経常増減差額	13,261,935	33,266,518	53,801,704	20,535,186
特別増減差額	0	-5,362,954	-918,806	4,444,148
当期活動増減差額	13,261,935	27,903,564	52,882,898	24,979,334
次期繰越活動増減差額	165,640,939	193,544,503	246,427,401	52,882,898

プレミアム扇拠点においては当期活動収支差額が 64,671 千円となり例年を超える結果となりました。(本部含む。)高稼働、新規加算の取得による増収が最要因といえます。

プレミアム草加南については 185 千円となり、僅かながら年間黒字を達成しました。

(拠点別事業活動収支計算書：円)

科目	プレミアム 扇	プレミアム 草加南	プレミアム 東松戸	合計
サービス活動収益計	668,066,677	274,188,970		942,255,647
介護保険事業収益	667,807,777	274,173,970		941,981,747
経常経費補助金収益	258,900	15,000		273,900
サービス活動費用計	598,070,758	269,292,951	11,554,145	878,917,854
人件費支出	383,957,764	162,931,071		546,888,835
事業費支出	93,445,653	40,776,616		134,222,269
事務費支出	82,874,108	39,562,741	11,554,145	133,990,994
減価償却費	56,056,047	33,666,909		89,722,956
サービス活動増減差額	69,995,919	4,896,019	-11,554,145	63,337,793
サービス活動外増減差額	-4,405,559	-4,710,236	-420,294	-9,536,089
経常増減差額	65,590,360	185,783	-11,974,439	53,801,704
特別増減差額	-918,806			-918,806
当期活動増減差額	64,671,554	185,783	-11,974,439	53,801,704
次期繰越活動増減差額	319,447,569	-61,045,729	-11,974,439	246,427,401

法人の支払い能力を表す資金収支計算書では当期資金収支差額が -10,435 千円となりました。プレミアム扇増築工事、プレミアム東松戸新築工事等の施設整備関連によるマイナスであり、事業そのものは順調に推移しているといえます。

(法人全体 資金収支計算書 3 カ年概略推移：円)

科目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	予算
事業活動収入計	646,373,430	871,298,546	947,036,022	946,476,000
事業活動支出計	591,265,315	768,169,732	823,295,944	827,738,300
事業活動資金収支差額	55,108,115	103,128,814	123,740,078	118,737,700
施設整備等収入計	174,200,000	0	372,146,824	371,945,000
施設整備等支出計	802,806,853	64,459,076	493,122,726	493,139,000
施設整備等資金収支差額	-628,606,853	-64,459,076	-120,975,902	-121,194,000
その他収入計	559,000,000	48,380,000	653,480	
その他支出計	48,894,050	6,776,900	13,852,760	13,897,460
その他活動資金収支差額	510,105,950	41,603,100	-13,199,280	-13,897,460
当期資金収支差額	-63,392,788	80,272,838	-10,435,104	-16,353,760
当期末支払資金残高	207,868,950	288,141,788	277,706,684	271,788,028

拠点別ではプレミア扇は、増築工事、土地取得および他拠点への長期貸付の影響によりマイナスが生じていますが、事業活動収支で見れば各事業ともに黒字化しており、順調といえます。

(事業別資金収支計算書概略：円)

科目	法人	プレミア扇サービス区分毎内訳(千円)					
		本部	特養	ショート	デイ	居宅	訪問
事業活動収入	947,036,022	134	514,419	47,165	70,320	24,728	15,529
人件費支出	540,649,875		277,948	26,541	39,590	21,720	12,489
事業費支出	134,222,269	37	80,780	5,926	6,621	72	8
事務費支出	133,990,994	381	67,852	5,190	7,183	1,476	793
借入金利息支出	12,920,789		6,925	457	536	16	
事業活動資金収支	123,740,078	-284	80,133	9,051	16,368	1,438	2,231
(参考)前年度事業活動収支	103,128,814	-60	71,640	8,183	19,700	534	2,075
施設整備資金収支	-120,975,902	-34,262	-46,332	-3,173	-3,196	-89	
その他活動資金収支	-13,199,280	-43,918	-2,498		-159	-241	-60
当期資金収支差額	-10,435,104	-78,463	31,302	5,878	13,013	1,108	2,171
(参考)前年度決算	80,272,838	-6,447	21,278	5,309	15,595	73	1,963

科目	プレミア草加南サービス区分毎内訳(千円)			
	特養	短期	GH	居宅
事業活動収入	139,550	41,363	87,176	6,433
人件費支出	73,727	22,719	54,742	11,173
事業費支出	22,746	5,396	12,369	48
事務費支出	26,734	6,355	6,081	393
借入金利息支出	2,471	831	1,256	9
事業活動資金収支	13,196	6,043	12,727	-5,189
(参考)前年度事業活動収支	1,629	-6,011	10,505	-5,066
施設整備資金収支	-1,350	-454	-686	-5
その他活動資金収支	-5,704	-1,760	-2,970	194
当期資金収支差額	6,142	3,828	9,070	-5,000
(参考)前年度決算	44,534	-6,465	9,592	-5,160